

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立浅野社会復帰センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目16番38号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会		
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目16番38号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所(就労移行支援(一般)、就労継続支援(B型))の管理運営		
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[所見]						
【一般就労】						単位：人
年度	H27年度 (更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
目標値	10	10	10	11	11	12
実績	11	7	8	7	7	5
①・就労移行支援事業での一般就労へ向けた取組みについては、障害者職業センターやしごとサポートセンターと定期的な会議を行うなど連携を図り、就職率アップに努めており、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、求人が少なく、また実習機会が減ったものの、5名を一般就労に繋ぐことができた。						
・自主事業として就労定着支援に取り組んでおり、利用者が就労後に病状悪化などの事情で退職することもあるが、定期的な本人の状況の把握、家族・会社との状況共有・調整等、丁寧な対応を行うよう努めている。こうした取組みも、会社における障害者雇用に対する理解を促し、継続的な一般就労者の排出に寄与しているものと評価する。						
【月平均工賃額（就労継続B型）】						単位：円
年度	H27年度 (更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
目標値	—	4,000	4,500	4,500	4,800	4,800
実績	4,615	4,517	5,512	6,257	9,507	12,948
・就労継続支援B型事業では、利用者が意欲的に参加できる生産活動（軽作業）により就労体験の提供、外出するきっかけとなる場所の提供を行っている。訓練内容としては、軽作業の種類の充実、施設外就労への参加を行い、工賃の向上や利用者の細かなニーズへの対応を行っている。また、企業からの作業を受託し、効率の向上のため適宜作業工程の見直しを行い、新規施設内・外作業の開拓により工賃の維持、向上に努めている。						
②・広報誌の配布先の見直しを随時行い、必要に応じて新規事業所や特別支援学校・高等学校を送付先に加えるなど、より効果的な広報の実施を図っている。また、ホームページ上での各事業の案内、情報公開及び広報誌を掲載するなど、広報活動に力						

を入れて実施している。

③・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。

**(2) 利用者の満足度**

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**【所見】**

**施設の総合評価**

**【満足度】**

単位：％

年度	H27年度 (更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
目標値	85	85	85	86	86	87
実績(就労継続)	89.3	89	82	75	83	84
実績(就労移行)						91

- ①・利用者の満足度は、アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、約86％となっている。
- ②③・利用者からの意見や苦情に対して適切に対応していくため、意見箱を設置し、毎月1回の定例利用者ミーティングより出た意見に対して適切に対応し、より良い運営への取り組みを行っている。
- ④・災害時や新型コロナウイルス感染者発生時の閉館予定の周知にあたり、情報のタイムラグによる利用者の混乱を避けるため、施設公式LINEアカウント（令和2年度開設）を活用した情報発信を行った。
- ⑥・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、余暇活動の充実やスポーツ活動等に例年のように取り組むことができなかったが、年度後半には月2回程度スポーツセンターに行きスポーツ活動を実施するなど、健康増進や新たな交流の機会を提供することにも努めている。
- ・例年、年5回程度開催している家族教室は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため開催せず、個別面談を実施した。各家庭の予定が調整できるよう、実施期間を1カ月設け、また、事情があり来所が困難な家庭に対しては、自宅訪問の上面談を実施するなどし、継続的に家族支援にも取り組んだ。

**2 効率性の向上等に関する取組み**

**(1) 経費の低減等**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

**【所見】**

**【光熱水費】**

単位：千円

年度	H27年度 (更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
予算	670	660	617	655	655	594
決算	632	608	649	610	560	555

- ① 電力供給契約の見直しや、非常灯以外の照明器具のLED化、自転車使用を含めた車輛の効率的な使用等、経費節減に努めている。

**(2) 収入の増加**

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

**【所見】**

- ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるため、収入増加の工夫はできない。

**3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み**

**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

**【所見】**

- ① 施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ② 精神障害福祉分野、就労支援等の外部研修への参加など、職員の資質向上を図っている。
- ③ 地区自治総連合会等と協働して、小倉駅近辺の清掃（毎月1回）、浅野町緑地公園、ミクニワールドスタジアム界隈の歩道の清掃を行っている。また、令和2年度は中止となったが、わっしょい百万夏祭り開催年には会場近郊の清掃のボランティア活動を行うなど、地域貢献に取り組んでいる
  - ・職場実習として、大学生・専門学校生を94名受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。

**(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など**

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。

- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
- ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

**【所見】**

- ①②・利用者の個人情報保護、人権・虐待防止について、マニュアルの整備や施設外での精神保健福祉事務者研修等への参加を積極的に行っており、適切な施設運営に努めている。
- ⑥・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット意見箱」の設置などにより、利用者の安全、衛生管理・事故防止に対する意識向上に取り組んでいる。
  - ・防災訓練を実施（年3回）するとともに、小倉北消防署浅野分署の協力による消火訓練、AED取り扱い研修の実施など非常時の体制整備に努めている。
- ⑦・新型コロナウイルス等の感染症対策として、衛生委員会・危機管理委員会協議の元、対策マニュアルを作成し、消毒を徹底、パーテーションを設置するなど、感染症予防に努めた。

**【総合評価】**

**【所見】**

- ・利用者の個人情報保護、人権・虐待防止について、マニュアルの整備や施設外での精神保健福祉事務者研修への参加を積極的に行っており、適切な施設運営に努めている。
- ・企業からの作業を受託し、効率の向上のため適宜作業工程の見直しを行い、新規施設内・外作業の開拓により工賃の維持、向上に努めている。
- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット意見箱」の設置などにより、利用者の安全、衛生管理・事故防止に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・防災訓練を実施（年3回）するとともに、消防署の協力による消火訓練、AED取り扱い研修の実施など非常時の体制整備に努めている。
- ・新型コロナウイルス感染症の対応にあたっては、感染拡大防止ガイドラインに沿った適切な感染対策を講じ、利用者、職員の安全確保に努めた。例年の活動が大きく制限される中、感染症予防を徹底した上で、利用者に寄り添った質の高いサービスの提供を継続した。

**【今後の対応】**

今後も施設の管理運営の適切な実施を行い、障害者職業センターやしごとサポートセンターとの連携により多くの一般就労の実現や社会福祉人材の育成に期待する。